

市議会だより おおだ

No.83

2026(令和8)年5月21日発行



🌿 大田市議会新体制スタート	2
🌿 3月定例会	4
🌿 一般質問に7人	9
🌿 常任委員会報告	13
🌿 特別委員会最終報告	14
🌿 おでかけトーク開催報告	16

企業版ふるさと納税を活用し、令和8年度からカラーで作成します。

議長・副議長 就任のごあいさつ

私どもは、四月の臨時市議会におきまして、議長及び副議長に就任させていただくことになりました。職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

大田市は豊かな自然環境や地域に根ざした産業資源に恵まれておりますが、同時に少子高齢化や人口減少、地域経済の活性化といった重要な課題に直面しております。また、防災・減災対策やインフラの老朽化への対応なども喫緊の課題です。

大田市議会は、二元代表の一翼を担う存在として、行政に対する適切なチェック機能と評価機能を発揮するとともに、市民の多様な意見を市政に反映させた政策の立案及び提言機能を十分に発揮し、市政における意思決定機関としての責任を果たすべく、議員一人ひとりが大田市発展に全力で努力してまいります。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



副議長 石田 洋治

議長 小川 和也

○委員長 ○副委員長

常任委員会

総務教育 6名	◎伊藤康浩 和田章一郎	○小林 太 高木裕介	松村信之	小川和也
民生 6名	◎胡摩田弘孝 宮脇康郎	○柿田賢次 中村 学	石田洋治	森山幸太
産業建設 6名	◎根宜和之 楯 龍夫	○塩谷裕志 河村隆弘	福田佳代子	清水 好

議会運営委員会
6名

◎森山幸太 宮脇康郎
○胡摩田弘孝 柿田賢次
根宜和之 伊藤康浩
和田章一郎

広報広聴委員会
7名

◎石田洋治 中村 学
○宮脇康郎 高木裕介
和田章一郎 清水 好
河村隆弘

監査委員(議会選出)
1名

塩谷裕志



市民とともに歩む新たな一歩
議長・副議長・委員会構成が決定

第7期大田市議会議員を紹介します

【議席の配置について】 議席番号は在職年数の少ない方から多い方へ、かつ年齢順です。
なお、議長は18番、副議長は1番です。



1番 いしだ ようじ
石田 洋治



2番 かわむら たかひろ
河村 隆弘



3番 たかき ゆうすけ
高木 裕介



4番 なかむら まなぶ
中村 学



5番 かじ たつお
楯 龍夫



6番 いとう やすひろ
伊藤 康浩



7番 かきだ けんじ
柿田 賢次



8番 しみず このむ
清水 好



9番 みやわき やすろう
宮脇 康郎



10番 わだ しょういちろう
和田 章一郎



11番 ねぎ かずゆき
根宜 和之



12番 もりやま こうた
森山 幸太



13番 こまだ ひろたか
胡摩田 弘孝



14番 ふくだ かよこ
福田 佳代子



15番 まつむら のぶゆき
松村 信之



16番 こばやし ふとし
小林 太



17番 しおたに ひろし
塩谷 裕志



18番 おがわ かずや
小川 和也

～市民の暮らし・子育てを支え、おおだの
未来をともに創るための予算～決まる!



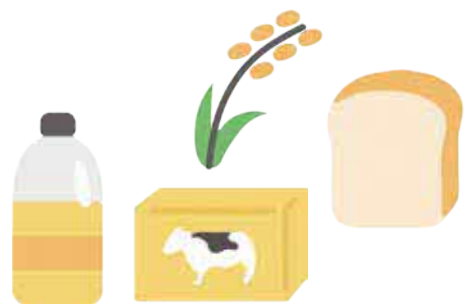
R8当初予算 特徴的な取り組み



完成イメージ

おおだ子育てにかかる総合支援拠点
施設整備事業 **5億9,593万円**

全ての妊婦・子育て世帯がいつでも安心して相談
できる支援体制を構築するため、「おおだ子育てに
かかる総合支援拠点施設」の整備を行う



物価高騰対策低所得者支援
給付金事業 **3億3,635万円**

食料品等の物価高騰による負担を軽減するため、
低所得者世帯に対し給付金を支給

石見銀山

世界遺産登録
REGISTRATION



記念事業
ロゴデザイン

世界遺産登録20周年・石見銀山発見
500年記念事業 **1億7,849万円**

「石見銀山遺跡」が世界遺産登録20周年及び石見銀山発見500年を
迎える令和9年に向け、魅力発信の強化や価値理解の促進を図ると
ともに、地域活性化や産業振興、観光誘客のための取り組みを実施



窓口デジタル化推進事業
1億199万円

住民サービスの向上、職員の業務効率化を図るた
め、書かない窓口等を導入し、窓口のデジタル化に
取り組む

3月定例市議会

2026(令和8)年
2月25日(水)~3月17日(火)

令和8年度
一般会計
当初予算

267.6億円

(対前年度比3.0%増)

第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ

産業づくり(多様で活力ある「産業」をつくる)

有害鳥獣被害 対策事業	1,918万円	有害鳥獣による農作物被害の拡大防止を図るため、有害鳥獣の捕獲や被害防除指導など、地域一体となった取り組みを推進するとともに、鳥獣被害対策DXを導入し業務効率化を図る
----------------	---------	--

豊かな心づくり(ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる)

国民スポーツ大会 開催準備事業	140万円	令和12年開催予定の「島根かみあり国スポ・全スポ」(競技種目:弓道・空手道・銃剣道)について、準備委員会を設置し、必要な準備を行う
--------------------	-------	---

暮らしづくり(だれもが住みよい「暮らし」をつくる)

長期休暇中子ども食糧支援 「つながりお届け」事業	147万円	物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担を軽減するため、就学援助制度を利用している世帯に対し、長期休暇中のこどもの食支援を行う
小学校給食費 無償化事業	9,542万円	令和8年4月に開始する小学校給食無償化において、国が示す基準値を超える部分に対する支援を行い、市内小学校の学校給食費を完全無償化する
クアオルト 推進事業	952万円	令和10年度に大田市で開催予定のクアオルト全国大会に向け、健康アプリの導入により、市民の健康づくりの機運醸成を行うとともに、健康ウォーキングコースの選定、ガイド育成を行う
高齢者補聴器 購入費助成事業	182万円	高齢者の経済的負担軽減及び積極的な社会参加促進のため、高齢者の補聴器購入への助成を行う

都市基盤づくり(くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる)

防災ハザードマップ 改訂事業	990万円	令和7年に島根県が拡大した浸水想定区域を反映するため、防災ハザードマップの改訂を行う
-------------------	-------	--

持続可能なまちづくり(協働・共創により「持続可能なまち」をつくる)

住民票等 コンビニ交付事業	3,154万円	住民サービスの向上と利便性の確保のため、住民票の写し等のコンビニ交付を行うとともに、市庁舎内にキオスク端末を設置し、コンビニ交付と同様の方法での交付を行う
------------------	---------	---

3月定例会で審議された その他の内容

令和7年度補正予算

【賛成多数・原案可決】

▼令和7年度一般会計補正予算

《主な内容》

- ・地域介護・福祉空間整備推進交付金事業補助

1360万円

高齢者施設等の防災・減災対策を推進する施設及び設備等の整備に係る経費を補助するもの

- ・消防車両等更新整備事業

6654万円

高規格救急自動車及び災害対応や救命処置の備品等の整備を行うにあたり、過疎対策事業債の追加配分に伴い補正するもの

- ・大田未来結びコーディネーター配置事業

2198万円

地域と学校、若者をつなぎ、人づくり・地域づくりを支えるコーディネーターの配置について、国の補助金の割当に伴い補正するもの

- ・学校給食センター設備更新事業

1億3040万円

財源組替及び学校給食センターの調理設備等の更新を行うにあたり、過疎対策事業債の追加配分に伴い補正するもの

人事案件

【異議なく同意】

- ▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること(任期3年)

現委員である大草一憲氏の任期が本年6月30日満了のため、川島穂土輝氏(三瓶町)を新たに任命することにについて意見を求めたもの。

1月臨時会で審議された内容

【1月29日】

令和7年度補正予算

【全会一致・原案可決】

▼令和7年度一般会計補正予算

《主な内容》

- ・キャッシュレス・ポイント還元事業

7000万円

キャッシュレス決済のポイント還元キャンペーンを5社で同時に実施し、食料品等の物価高騰の影響を受ける市内業者や消費者を支援する。

※支払額の最大20%ポイント付与(1社あたりの上限…)

2千円/回、5千円/期間

- ・中小企業者等物価高騰対策省工不支援事業

4800万円

島根県が実施するエネルギーコスト削減対策緊急支援の補助を受けた市内事業者等に対し上乗せ補助をすることで、中小企業者等が行うエネルギーコストの削減に資する取り組みを促進する。

- ・地域子ども・子育て支援事業における事業継続支援事業

155万円

物価高の影響を受ける厳しい環境の中でも、安定的な事業運営を継続して提供できるよう、公立施設において物品等の購入を行うとともに民間施設への支援を行う。

4月臨時会で審議された その他の内容

【4月16日】

議員提出議案

【全会一致・原案可決】

- ▼大田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

大田市の機構改革に伴い、常任委員会の所管事項の改正を行うもの。また、議会運営の円滑化及び審査機能向上のため、議会運営委員会の定数を改正するもの。

議会を傍聴 してみませんか

お気軽に
どうぞ!

市議会を身近に感じる良い機会です。
◇傍聴席は定員64人です。

6月定例会日程

(5月29日～6月15日)

- 5月29日 本会議(開会・議案上程)
- 6月3日 本会議(一般質問)
- 4日 本会議(一般質問)
- 5日 本会議(上程議案に
対する質疑)
- 8日 総務教育委員会
- 9日 民生委員会
- 10日 産業建設委員会
- 15日 本会議(表決・閉会)

傍聴は、市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問がおススメです。
臨場感あふれる議場でのやりとりをぜひご覧ください。

地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の一環での見学もお待ちしております。

団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。

受付は議会事務局にて、氏名等のご記入をお願いします。

お問い合わせ先…大田市議会事務局

TEL:0854-833-8137

◇ 1月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治	
■市長提出議案																					
議案第495号	令和7年度大田市一般会計補正予算(第5号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名(現員16名)、うち議長(河村賢治)は採決に加入りません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

◇ 3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治	
■市長提出議案																					
議案第496号	令和8年度大田市一般会計予算	可決	13:2		○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第497号	令和8年度大田市国民健康保険事業特別会計予算	可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第498号	令和8年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第499号	令和8年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第500号	令和8年度大田市介護保険事業特別会計予算	可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第501号	令和8年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第502号	令和8年度大田市大田市駅周辺土地地区画整理事業特別会計予算	可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第503号	令和8年度大田市水道事業会計予算	可決	13:2		○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第504号	令和8年度大田市下水道事業会計予算	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第505号	令和8年度大田市病院事業会計予算	可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第506号	令和7年度大田市一般会計補正予算(第6号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第507号	令和7年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第508号	令和7年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第509号	令和7年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第510号	令和7年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第511号	令和7年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第3号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第512号	令和7年度大田市大田市駅周辺土地地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第513号	令和7年度大田市水道事業会計補正予算(第4号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第514号	令和7年度大田市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第515号	令和7年度大田市病院事業会計補正予算(第4号)	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第516号	大田市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:2		○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第517号	大田市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第518号	大田市部設置条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	小川和也	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	石田洋治	松村信之	小林太	月森和弘	塩谷裕志	石橋秀利	河村賢治	
議案第519号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第520号 大田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第521号 大田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第522号 大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第523号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第524号 大田市葬斎場条例の一部を改正する条例制定について		可決	14:1		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第525号 大田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第526号 大田市生活バス運行に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第527号 大田市三瓶山周辺観光施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第528号 大田市火災予防条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第529号 大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第530号 大田市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第531号 大田市診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第532号 大田市過疎地域持続的発展計画の策定について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第533号 公の施設の区域外設置に関する協議について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第534号 大田市人権センター新築工事（建築主体）請負変更契約の締結について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第535号 市道路線の認定、変更及び廃止について		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第536号 令和7年度大田市一般会計補正予算（第7号）		可決	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第537号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意	15:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名（現員16名）、うち議長（河村賢治）は採決に加わりません。（但し、議案第516号は特別多数議決のため議長も採決に加わります。）
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々） ※「欠」は欠席

◇ 4月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対等	石田洋治	河村隆弘	高木裕介	中村学	梶龍夫	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	福田佳代子	松村信之	小林太	塩谷裕志	小川和也	
■議員提出議案																							
議案第1号 大田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■市長提出議案																							
議案第2号 監査委員の選任につき同意を求めることについて		同意	16:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	—

※定数18名、うち議長（小川和也）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）
 ※除は除斥（当該議員の一身上または利害関係のある議案のため採決等議事には加わりません）

新「大田市立静間小学校」開校

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月2日に行われ、7人の議員が執行部に対して質疑を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)、二次元コードで閲覧できます。)



▲新「静間小学校」開校式 (4月8日 静間小学校)

大田市農業の課題に 対する対応は

農業所得向上につながる
取り組みを進めている

質問動画

質問 当市の農業は担い手減少と高齢化、所得低迷、耕作放棄地増加が課題である。組織的な集落営農や法人化は進むが、生産性向上は限定的であり、コスト増や米価低下、鳥獣被害も影響し、今後は生産性向上、担い手育成、耕畜連携が求められている。以下3点について伺う。

① 農業生産性向上に繋がる取り組み

② 多様な担い手の確保と育成

③ 耕畜連携による自給率向上と地域資源の有効活用

答弁 ①県及びJAとの役割分担の策を活用し、生産性向上やコスト縮減を図り、水稻栽培農家の農業所得向上

ごまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



につながる取り組みを進めている。

②地域の実情を踏まえた持続可能な担い手確保策について、島根県、島根県農業公社、島根定住財団など定住・移住分野での取組との情報共有、大田市農業担い手支援センターとの連携を強化し、効果的な取り組みを研究してきたい。

③JAや島根県が主体となり、畜産農家から供給される堆肥等を活用し、また、大田市耕畜連携推進協議会と連携をして、持続可能な循環型農業の推進に取り組んでいく。



市政運営は

財源の確保に努め、
市民の暮らしを支える



質問動画

みやわき やするう
宮脇 康郎 議員



質問 物価が上がり続け、公的年金を引き上げても物価上昇率には追いつかず、市民の生活悪化が続いている。

この状況で、本市は水道料金介護保険料も高く住みづらいまちになっている。そこで、以下3点につき伺う。

- ①生活悪化が続いている市民の暮らしについての認識
- ②水道料金介護保険料の引き下げを求める
- ③市民の負担軽減と市内経済の活性化について

答弁

①物価上昇に賃金上昇が追いつかず、実質賃金が低下していることが問題と考える。消費者物価指数は生活費の指標では、直近2〜3%



上昇しており、市民生活に影響を与えていることも認識している。今後も、市民の負担軽減事業に取り組む。

②令和8年4月からの水道料金改定は、市民の皆さまに安定的に供給するために必要である。また、介護保険料は介護サービスに要する費用等を推計し、設定したものでありご理解を願いたい。

③物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、省エネ支援事業、キャッシュレス・ポイント還元キャンペーンに取り組み、市民に活用していただくよう進めている。

大田市中心市街地 活性化は

今後の方向性については
随時対応する



質問動画

かきだ けんじ
柿田 賢次 議員



質問 中心市街地の活性化に向けて、以下3点について伺う。

- ①令和4年度から調査実施の区内の空き家、空き店舗、空き地など、その状況について
- ②大田市駅前周辺東側土地区画整備事業について
- ③大田市駅前の旧商業施設パルの跡地利用について

答弁

①これまで延べ約80件の調査や所有者の意向を確認した結果、賃貸や売買による活用を希望される物件として約20件をリストアップしている。市または大田商工会議所で相談対応しており、出店にいたった事例もある。

さらなる利活用を促進するため、

ホームページ等で物件情報を公開できるように作業を進めている。

②令和3年に事業認可を受け、令和10年度の完了を目標に整備を進めている。区画整理事業の事業費に充てるため一般販売する保留地は、事業全体では36区画、8640㎡を確保している。売却には、保留地処分規則を定め、公正かつ公平な処分を努めており、随意契約による売却は、現在、保留地全体の53%で、うち約半分が売却済み。今後も宅地造成が完了次第、公募を行う予定である。

③旧商業施設パルの解体には、7千万円の支援を実施した。この跡地利用は、大田駅前活性化事業協同組合により公募が行われ、協議が重ねられているが、現時点では進出事業者の決定に至っていない。


今後も駅前にふさわしい、にぎわい創出につながるエリアとして、協同組合において検討が進められるので、早期活用を期待し、その状況を見守りたいと考えている。

答弁 平成31年、再生可能エネルギー設備の設置等に関するガイドラインを制定したが、より強制力のある措置を講じることができるとの条例の制定が有効である。国は2050年、脱炭素社会の実現を宣言し、本市

質問 条例制定の全国の動きは、昨年末時点で336件と増加し、県内でも松江市、吉賀町など近隣でも制定されている。制定の主な理由は、太陽光発電設備の設置に伴い、土砂の流出・濁水の発生、景観や動植物の生育環境の悪化、周辺住民とのトラブル等によるものである。市民の不安解消と生活環境の維持、安全で豊かな自然環境を守るために、条例制定が必要であると考えますが、所見を伺う。

再生可能エネルギー発電に関する条例制定は

条例制定に向け、準備をすすめる



質問動画

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



も脱炭素社会に向け再生可能エネルギーの導入促進は重要な取り組みであると認識している。脱炭素社会と市民の安全で安心な生活環境の実現、豊かな自然環境の保全と地域の調和を図るため、再生可能エネルギー発電事業の適正な導入を促すことを目的とした条例制定に向け準備を進めたい。



▲太陽光発電機

根宜議員その他の質問項目
重層的支援体制整備事業について

認知症の方に寄り添った地域社会の構築

関係各所と連携し、理解の促進を図り研究を進める



質問動画

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



②ユマニチュードは効果が期待される一方、現場負担や導入の難しさから行政主導の普及は行わず、情報提供にとどめる方針である。
③ピアサポートは認知症カフェ等の活動の周知や内容の充実を支援していく。

答弁 ①地域包括支援センターや石東病院と連携し、認知症サポーター養成者4253人や啓発活動、VR体験会などを通じて理解促進を進めている。

質問 誰もが尊厳を持って暮らせる共生社会の実現に向け、以下4点について、所見を伺う。
①認知症への理解の推進(サポーター養成講座や啓発の強化)
②ケア技法ユマニチュードの普及によるBPSD抑制と介護負担軽減
③当事者同士が支え合うピアサポート環境の整備
④増加する行方不明者へのGPS活用や二次元コード導入などの対策強化

④行方不明対策ではGPS活用の制度動向を注視しつつ、見守りサービスの実証や二次元コード活用も含め研究を進めている。



▶VR認知症体験会

石田議員その他の質問項目
市民後見人制度の活用促進と成年後見人送付先住所変更の一括手続きについて

庁舎の耐震補強工事が可能か、再調査を実施すべき

耐用年数を超えて使うことは難しく、新しい庁舎を建設したほうが財政的にも有利



質問動画

和田章一郎 議員



また、防災の面でも極めて重要な施設である。

昨年、実施した市民アンケートにおいて、今後、市が取り組むべき施策として重要だと思ふもの上位に「防災、災害に関する施策」があげられている。庁舎は、防災拠点として災害時の司令塔を担い、市民の生命、身体、財産を守るため、被害の情報収集や避難対応、情報発信などを迅速に行うためにも必要不可欠なものである。

質問 2年後から始まる第3次総合計画の目的は「みんなが豊かに幸せに暮らせるまちづくり」であるが、10年の計画期間中の一大プロジェクト事業が庁舎の建て替えでは夢と希望が持てないのではないか。

年間七百人ペースで人口減少が続く、財政が厳しい大田市である。耐震補強工事が可能かどうかの現時点での再調査を実施するべきではないか。

答弁 庁舎整備は、市民サービスを提供するための拠点づくりであると同時に、共創の拠点の整備でもあり、「幸せに暮らせるまち」の実現に向けたあらゆる施策と深く関わる不可欠な施設である。

現庁舎は、これまで大規模改修を一切しておらず、さらに、8年前の地震で大きくダメージを受けた。耐用年数を超えて使うことは難しく、新しい庁舎を建設したほうが財政的にも有利だと判断している。



▲市役所庁舎

和田議員その他の質問項目
久手駅舎跡地について

三瓶山の自然環境保全は

地域や関係機関と連携して推進する



質問動画

伊藤 康浩 議員



計画

③ 姫逃池を含む湿地環境の保全と観光利用との両立について

答弁

① 三瓶山の希少動植物の分布や個体数は、島根県と三瓶自然館サヒメルが年間モニタリングを実施し把握しており、結果はレッドデータブックで整理され、市も指定希少種の保全を進める。

② 西の原では火入れ、草刈り、放牧を組み合わせた管理が継続されている。火入れの実施体制については、約150人の体制で約33haの草原を管理している。

外来種対策も地域と連携し、適切な保全に努める。

③ 県や団体と協力し外来種駆除と水位確認を継続し、水位回復や環境保全を関係機関と連携して進める。



▲仙ノ山からみた三瓶山

質問 三瓶山地域は、火山地形と広大な草原、湿地や池沼、二次林・自然林がモザイク状に広がる、生物多様性の高い国立公園の重要な地域である。

しかし、草原は火入れや草刈り、放牧など人の営みにより維持されてきた環境であり、管理が停滞すればササの繁茂や低木侵入、外来種の増加により希少種の生育環境が失われる懸念がある。

また姫逃池では水位低下により「カキツバタ群落」や「浮き島」の環境変化も指摘されているが、以下3点について伺う。

① 希少動植物の調査・把握と保全の優先順位
② 草原維持や外来種対策の体制と

常任委員会報告

付託案件の主な審査内容

◎委員長 ○副委員長

総務教育委員会

◎胡摩田弘孝 ○伊藤康浩 石橋秀利 河村賢治 松村信之 和田章一郎

(政策企画部・総務部・消防部・出納室・教育委員会・他の委員会に属さない事項)

大田市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例(総務課)

新庁舎整備に伴い、所要の改正を行うもの

問 見込みの段階での手続きではないか。

答 基本設計完了見込み、仮換地指定で位置が確定的になっている。実施設計・建築確認・工事着手の書類手続きにも地番の確定が必要である。見込みではなく、位置が固まったという認識に基づく改正である。



消防学校派遣等研修費(消防部)

消防学校派遣等にかかる経費

問 消防学校派遣・退職状況はどうか。

答 令和8年度は新規採用職員6名を県消防学校へ派遣する旅費・負担金の増が主な原因である。救急救命東京研修所へ1名派遣の旅費・負担金も含まれている。昨年1名退職したが、経験者枠で1月1日採用した。

・令和8年度一般会計予算、その他議案11件について、いずれも原案どおり可決されました。

民生委員会

◎森山幸太 ○月森和弘 石田洋治 小川和也 宮脇康郎

(健康福祉部・環境生活部・市立病院)

物価高騰対策低所得者支援給付金給付事業(給付金室)

島根県低所得世帯緊急支援給付金の支給に併せて、食料品等の物価高騰による負担を軽減するため、低所得者世帯に対し給付金を支給し支援する

問 6月以降に給付開始とのことだが、申請案内や手続きはどのようなものか。

答 状況を把握できている対象者は、プッシュ型で案内する。内容の確認が必要な方は、確認書を送付する。それ以外の方は、申請をしていただく。これら3つの方式で実施する。



クアオルト推進事業(健康増進課)

大田市ならではの地域特性を活かし、歴史や文化、人と自然との関わりにより育まれた「環境」の中で、人々の心と体が「健康」であるための環境づくり(健康保養地=クアオルト)を推進していく。

問 駅周辺整備などのまちづくりとどう連携し、今後どのような方向性を目指すのか。

答 駅周辺の桜並木などを活用し、仲間と一緒にウォーキングできるような環境づくりを進めたい。健康アプリを導入し、歩数などを「見える化」することで市民の健康への行動変容を促し、最終的には医療費や介護保険料の抑制につなげたい。

・令和8年度一般会計予算、その他議案17件について、いずれも原案どおり可決されました。

産業建設委員会

◎根宜和之 ○塩谷裕志 小林 太 清水 好 柿田賢次

(産業振興部・建設部・上下水道部・農業委員会)

有害鳥獣(イノシシ等)被害対策事業(農林水産課)

有害鳥獣による農作物への被害を防止し、農業生産物の安定確保を図る

問 予算は増額となっているが十分に対応できるのか。イノシシやサルの被害を農業者だけではなく、一般にも情報提供すべきではないのか。

答 支援制度を使った今年度の捕獲免許取得者は14名であり、来年度から新規に活動予定である。サルの出没については、自治会単位で勉強会などを開催しているが、広く情報共有できるように広報等で周知に取り組む。

意見 発信機などDXシステムも導入し、その効果に期待する。サルの出没は広域化しており、対策実施地域の拡大と、スピード感のある対策の検討を求める。



令和8年度大田市水道事業会計予算(水道課)

令和8年4月1日の水道料金改定により、料金収入について約1億6百万円の増額を見込む

問 施設の老朽化もある中で、どのように令和8年度予算を組んだのか。また、4月からの料金値上げに対する市民の反応はどうか。

答 更新計画を作成しており、計画的に修繕や更新に努めている。現在までの料金値上げの問い合わせは、1件だけであるが、実際の請求が行われると増加すると予想している。

・令和8年度一般会計予算 その他議案13件について、いずれも原案どおり可決されました。

新庁舎建設調査検討
特別委員長最終報告
「12月16日、2月25日開催」

委員長 石田 洋治

梶野市長、郷原建設部長ほか、担当職員が出席し開催した。

市民説明会

問 新庁舎建設の費用と耐震化を比較して、市民説明会で説明できないか。

答 これまでも資料を作成し説明してきた。正しい情報を正しく理解していただけるよう資料を用いて説明したい。

事業費

問 普通交付税は人口や面積等で算定されるため、人口減少で減額されることを考慮してほしい。

答 緊急防災減災事業債は30年償還、据え置き期間は3年を想定している。脱炭素化推進事業債は設備の耐用年数を考慮し15年で返済、子ども・子育て関係は15年で返済する計画である。

一般単独分は、借り換え等を視野に入れ40年で償還する想定とし、単年度の公債費負担を平準化していきたいと考えている。13年度以降は減災基金の積立を行い、交付税措置の

ない部分については、繰上償還を進めたいと考えている。

問 緊急防災減災事業債は耐震化に使った場合、新築時には再度使えないという理解でよいか。物価上昇は加味されているか。

答 緊急防災減災事業債は、耐震性のない庁舎の建て替えを対象にしている。ZEB化に資する部分は脱炭素化推進事業債で充当する。残った事業費は、部屋ごとに災害時の役割を勘案し、面積単位で緊急防災減災事業債の対象になるかを県・国に確認しながら算出している。総事業費は物価上昇を踏まえた額で算出している。

耐震化

問 耐震補強して長寿命化する選択肢もあるが、メンテナンス次第で持たせられるかどうかの検査(中性化試験等)をやるべきではないか。

答 耐震化と長寿命化は別であり、耐震化しても寿命は延びないと考えている。既存の建物は、必要なメンテナンスがされておらず、一般的な60年の耐用年数を全うできる状態にはないというのが現状判断である。

意見

長期間かけて議論を重ねてきたことを重視し、新庁舎建設は将来の市民サービス提供と安心安全な拠点を確保するために必要だと考える。

議会活性化検討 特別委員長最終報告

〔2月19日開催〕

委員長 小林 太

政務活動費按分率の案

調査研究費の調査研究にかかるガソリン代は、日々の活動を40%（上限5万円）とし、目的を持った出張形式のものは正当性が認められれば100%とする案が出された。

資料購入費の新聞各紙購読料は、議員の調査研究の手段であるため、100%とするべきという意見でまとまった。（スポーツ紙は不可）
また欄外の注意書きに、「議員が報告書の説明責任を持つ」の一文を付け加える案が出され、次の報告書作成の参考とすることとした。

青年協議会との意見交換会報告書

青年協議会からは、「議会がどのようにに議論をしているのか解りにくい」、「出席状況、一般質問の回数などを数値で可視化してはどうか」、「情報発信を更に進めて欲しい」などの意見があった。

議員のなり手不足の課題では、兼業についての法改正や年金制度への取り組み、報酬額の説明などで理解

を深めたことが報告された。

委員からは、意見交換会を今後も継続するべきではないか、という意見があった。

「大田市公式LINEアカウント登録のご案内」チラシの取り扱い

議員へPDFデータを送り、それぞれの発信方法で拡散に努め、議会だよりに掲載することや、公共施設などでの周知を依頼することとした。



今委員会のまとめ

開かれた議会と持続可能な議会の2つを柱に議論を進めてきた。

江津市議会へ常任委員会の在り方などの視察や、厚生年金の勉強会、リモート会議の体験、ぎんざんテレビの「お知らせひろば」とLINEを使った議会広報の説明会を行った。

政務活動費のアンケート調査の実施、按分率案の作成、そしてオンライン化に伴う条例や規則の改正、青年協議会との意見交換会を開催した。

また、次期の議会でも議会改革、活性化の議論を継続するべきという意見があった。

行財政改革 特別委員長最終報告

〔2月10日開催〕

委員長 松村 信之

職員定数・定員管理

- ・定数は増加方向だが、配置プロセスの妥当性が不明確であり、更に適正人数判断を強化すべきである。

- ・令和7年度からの5年計画は「定員適正化」から「業務に応じた適正管理」へ趣旨転換し、今後4年では増員計画とされている。

- ・構造的対策として、業務見直し、部署統合、職場環境改善、コミュニケーション活性化が必要。

- ・中途退職が多く、背景にある配置最適化などの改善対策をするなど反省に基づき実行性のある対応を望む。

- ・正規職員は少ないが、人口千人当たり職員数は多いなど、業務に応じた配置が必要。

DX（デジタル化）の推進

- ・業務効率化が、住民サービスの向上が、職員削減かなど目的の明確化が必要。

- ・AI活用など更に先進事例を参考にし、職員の理解をもっと促すことが必要。

- ・DXは業務細分化や増加を伴う側面もあるので、新庁舎に移行する時期に応じた計画的なデジタル化のロードマップの作成が必要。

公共施設適正化計画

- ・適正化計画の進捗率が悪い。
- ・空き校舎等の未利用資産は、利用・売却・解体の選択と費用対効果を早期に明示し実行すべきである。
- ・未使用でも建物が残る限りコストは発生するので、計画の実効性確保が必要。

- ・空き校舎の企業誘致・地域活用・売却などは、行政財産と普通財産の取り扱いに関する住民の理解を得る中で、具体策と継続性が必要。

特別委員会の在り方

- ・行財政改革は重要だが、特別委員会を設置し続ける必要性に疑義が示された。

- ・この特別委員会を継続するのか、否かは次回の議会に委ねるが、継続するならば、それぞれの議会報告時における提言に対し、執行部の文書回答や、進捗を定期点検するフォローアップの仕組みを整えるべきである。

- ・横断的課題の調整・提言機能としての役割は意義があるので、各常任委員会との所管重複に遠慮せず、全体最適の視点で提言するべきとの意見、また一方では進捗確認・意見表明は各常任委員会でも可能との見解も示された。

新広報広聴委員紹介



●広報広聴委員会が担当する主な事項●

- 1、議会広報紙(市議会だよりおおだ)の編集・発行
～見やすく、伝わる広報紙を目指します～
- 2、議会のウェブサイトの編集・発信
～スピーディーな情報発信を心がけます～
- 3、議会報告会の開催
～市民の皆さんと意見交換できるよう取り組みます～

大田市議会 YouTube 公式チャンネル 大田市公式LINE をご覧ください

大田市議会では、大田市議会YouTube公式チャンネルや大田市公式LINEにて、市議会に関する情報を発信しています。
登録をお願いします。



大田市議会
YouTube
公式チャンネル



大田市
公式LINE

登録
よろしくね



おでかけトーク 開催しました

JＡしまね石見銀山 女性部のみなさん



今回は、女性の視点やニーズを政策へ反映させることを目的に、JAしまね石見銀山女性部と「持続可能なまちづくり」をテーマに開催しました。
はじめての意見交換でしたが、地域に関する課題や思いをたくさん話し合い、活発な意見交換となりました。

主な意見

- ・もう少し病院の数を増やしてほしい。
- ・住みたい田舎No.1をもう一度目指してほしい。
- ・室内でスポーツできる場所がほしい。
- ・雇用の場が必要。
- ・高校生が残る大田市にするために、小さいころから大田市の良さを教育する必要がある。



編集後記

先の市議選において、18名の議員が選出されました。各議員が掲げた選挙公約実現のために活発な議員活動を行うことが、大田市政に新たな息吹を吹き込んでくれるものと確信しています。

今、大田市の玄関口である大田市駅前が生まれ変わろうとしています。来年は、石見銀山遺跡が世界遺産登録20周年、発見500年を迎える年です。多くの来訪者を大田市に迎えることで、大田市が大きく変わる原動力となることを期待しています。(石田洋治)

広報広聴委員会

委員長	石田 洋治
副委員長	宮脇 康郎
委員	和田 章一郎
委員	清水 好
委員	中村 学
委員	高木 裕介
委員	河村 隆弘